

# 自動車地球温暖化対策実施方針

## 《 1 大規模荷主 》

事業者名	理研ビタミン株式会社	事業所名	草加工場				
取組措置		具体的取組措置			R3	R4	R5
01	荷主の物流部門における二酸化炭素排出量の把握 ----- ( 02 ) 貨物輸送事業者及び自社関連部門との情報共有及び改善のための取組実施	本社物流部門、営業部門、受注センターとの情報共有。SP倉庫直送配送による搬送距離削減によるCO2削減及び関連部門納期調整により通常配送とし工場少量直送配送を削減			○	○	○
03	物流拠点の活用による輸配送の効率化 ----- ( )	特定製品及び物量によって拠点直送配送による効率化を図っている。			○	○	○
04	積載率の向上による輸配送の効率化 ----- ( 02 ) 混載便の利用や共同輸配送の取組	・少量配送を行う際は混載路線便をを活用。 ・近隣の複数箇所へ配送を行う場合、配送業者と協力し関西を行い輸送効率向上を図っている。			○	○	○
04	積載率の向上による輸配送の効率化 ----- ( 03 ) 輸送量及び積載率を考慮した適正車種での発注	物量に応じた適正車種を選択			○	○	○
05	計画的な貨物輸送による輸配送の効率化 ----- ( 01 ) 発注時間及び配送時間のルール化	基本的に出荷時間のルール化を実施			○	○	○
06	その他輸配送の効率化により輸送距離及び回数を削減する取組 ----- ( )	拠点直送配送によるトータル輸送距離及び回数の削減及び計画的な生産計画を行うことで緊急出荷を抑える			○	○	○

## 自動車地球温暖化対策実施方針

07 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの促進	構内守衛所にアイドリングストップの掲示を実施	○	○	○
( 04 ) 周辺道路への路上駐停車及び構内アイドリング防止のための取組				
09 共同輸配送も視野に入れたモーダルシフトの推進	幹線輸送に船便、JR貨物を使用する	○	○	○
( )				